



市職員の新型コロナウイルスの感染について

令和5年1月3日、市職員が新型コロナウイルスに感染していることが確認されました。
当該職員は、発熱等により、抗原検査を実施した結果、1月3日に陽性が判明したものです。

1 職員

会計管理者

市内在住（通勤は自転車を利用）

2 症状、経過状況等

1月2日（月）発熱

1月3日（火）抗原検査の結果、陽性

3 濃厚接触者

調査の結果、職場内での濃厚接触はありません。

4 市の対応

当該職員の執務室内や共用スペースの消毒を既に完了しています。

引き続き、保健所等と連携して職員の感染防止対策を徹底してまいります。

会計課

担当者：会計課長 板橋

☎ : 0494-25-5219

FAX : 0494-25-0135



3年ぶりに「文化財防火演習」を開催します!

毎年1月26日は「文化財防火デー」です。

【strong point/ここが言いたい!】

昭和24年、火災により国宝「法隆寺金堂壁画」が焼損したことを契機として、毎年1月26日は「文化財防火デー」として定められており、本年度で69回を数えます。

秩父市では、毎年、秩父消防本部・秩父市消防団の協力の下、1月26日に近い日曜日に「文化財防火演習」を実施しております。

ここ2年は新型コロナウイルス感染拡大の懸念から中止となっておりますが、本年度は秩父市熊木町にあります市指定史跡「秩父神社御旅所」付近で火災が発生したことを想定して、秩父市消防団第一方面隊による消防演習を実施しますので、ぜひご覧ください。



■令和元年度の「文化財防火演習」の様子
(令和2年1月19日(日)・大滝大達原区)

- 開催日 令和5年1月22日(日)
午前8時 訓練開始 午前9時 終了予定
- 会場 秩父市指定史跡「秩父神社御旅所」(秩父公園内)
- 駐車場 有 (秩父市歴史文化伝承館駐車場)
訓練開始後は消防車両の通行やホースの延長等により、駐車場内は通行止めになりますので、午前7時45分までに駐車場へお越しください。
- 添付資料
 - ・秩父市文化財防火訓練実施要領
 - ・文化財防火訓練(放水訓練)訓練実施図
- その他 訓練・閉会式終了後、秩父市消防団に配備されました水槽車による補水作業を行います。こちらも併せてご覧ください。

教育委員会文化財保護課

担当者：伊藤

☎0494-22-2481

FAX：0494-23-9294





地域一体の取り組み！

秩父地区公立中学校生徒（第1学年）の4高校見学

中学生が地域の高校4校を実際に見学することを通して、中学生の今後の進路選択の一助とともに、各高校が自校の特色等をアピールする機会となります！

【strong point/ここが言いたい！】

令和4年10月に県教育委員会は、令和8年からの県立高等学校統合を発表しました。秩父地域の県立高等学校は、将来の地域を支える若い世代の育成にはなくてはならない学校であり、まちづくりの観点からも、地域の中で大きな役割を担っています。

引き続き、1市4町と県立高等学校4校により相互の連携・交流を深めるとともに、各校の魅力向上につながる取り組みが求められています。

その一環として、中学生が地域の高等学校4校を実際に見学し、1年生の早い段階から自身の進路選択を考えていく上での参考とするとともに、各高校が自校の特色等をアピールする機会として本事業を実施します。

1 対象学年

令和4年度秩父地区公立中学校第1学年 約770人

(秩父市、横瀬町、小鹿野町、皆野町、長瀬町の中学1年生が秩父地区県立4高校を見学)

2 実施期日 令和5年

1月17日(火) 秩父第一中・大田中・荒川中・吉田中

1月18日(水) 秩父第二中・影森中・高篠中・長瀬中

1月24日(火) 尾田蒔中・横瀬中・皆野中・小鹿野中

3 見学時間 1コマ目 9:20~10:20 2コマ目 11:00~12:00

3コマ目 13:10~14:10 4コマ目 14:50~15:50

※交通事情等により、時間の変動あり

※令和2年度からの実施を予定し計画しておりましたが、新型コロナウイルス感染状況により直近2年間中止となっており、今回が初めての開催となります。

※各高校に取材される際には、事前に取材先の高校へ電話にて必ず連絡をお願いいたします。

秩父高校 22-3606 秩父農工科学高校 22-3017

皆野高校 62-2076 小鹿野高校 75-0205

【next plan/今後の事業展開】

より効果的な取り組みを、1市4町と県立高等学校4校が相互の連携・交流し実施する。

教育委員会教育研究所

担当者：飛川

☎0494-22-2446

FAX：0494-23-9294





秩父川瀬祭が「ダイドーグループ日本の祭り」に選定

ダイドードリンク関係者による選定書授与式を実施します

【strong point/ここが言いたい!】

ダイドーグループホールディングス株式会社では、毎年、全国各地で行われる祭りの中から選定し、各地の民間放送局による1時間の特別番組を制作し、単独提供する「ダイドーグループ日本の祭り」を2003年から実施しています。

令和4年度にはその一つとして毎年7月19日・20日に開催される秩父神社の夏祭り「秩父川瀬祭」が選定され、令和4年8月21日には、「ホーリヤイ! 笠鉾がまちにやってきた! ~想いを繋げ 秩父川瀬祭~」(制作・放送: テレビ埼玉)として番組が公開されました。

この度、ダイドーグループ関係者等が秩父市長を表敬訪問し、「ダイドーグループ日本の祭り」選定書を授与することとなりましたのでお知らせいたします。



●選定書授与式について

日時: 令和5年1月24日(火) 午後2時30分~(15分程度を予定)

会場: 秩父市役所本庁舎3階 市長公室

出席者: 秩父市 北堀市長、石関副市長、山田産業観光部長 ほか

(予定) ダイドードリンクホールディングス株式会社

首都圏第二営業部長 吉田様、首都圏第二支店長 根橋様、関東支社長 福山様 ほか

※「ダイドーグループ日本の祭り」については、同社提供の別紙資料をご確認ください。

産業観光部観光課 担当者: 宮前

☎0494-25-5209

FAX: 0494-27-2627



報道機関の皆様へ

「ダイドーグループ日本の祭り」お取り上げに際して 要点のご紹介

この度は、弊社活動「ダイドーグループ日本の祭り」に関心をお寄せいただき御礼申し上げます。
取材および放送・掲載をいただくにあたり、下記の要点をご参考いただけましたら幸甚に存じます。

呼称／ダイドーグループにっぽんのまつり ※にほんNG

主体／ダイドーグループホールディングス株式会社(本社:大阪市)

目的／地域との共生(SDGs視点からの社会貢献)

意義／祭り文化の継承を支援し、地域と人の成長を支える

祭りの魅力の発信を支援し、地域の賑わいを促進する

開始／2003年(平成15年) ※2022年(20年目)末で500以上の祭りを訪問(番組化)

紹介肩書／高松富也 ダイドーグループホールディングス代表取締役社長

高松富博 ダイドーグループホールディングス前会長

祭りの魅力発信活動

① テレビ番組

＜都道府県別＞

地域の祭りをテーマに各地の放送局(35局)がドキュメンタリー番組を制作、それぞれの地域で放送し、祭り人の活動、地域の歴史や文化を紹介し、地域に対する理解や共感を育みます。

＜全国BS再放送＞

各地域の番組を厳選して全国に再放送することで、日本中の皆さまに祭りや地域の魅力を伝えます。(BS12 およびBSよしもと)

② インターネット

＜ウェブサイト＞

ダイドーグループやダイドードリンコのウェブサイトにて、活動の意義、概要、今年応援する祭り、これまで応援した祭りなどをご紹介します。

＜YouTube＞

各地域の番組を厳選していつでもどこからでも視聴できる環境を整えています。

地域との連携・応援活動

① 地域との協働

(自治体、地元企業、学校、地元放送局)

日本の祭り活動をきっかけに、地域や行政と一緒に、観光振興、青少年の健全育成、地域活性化などのお役に立てるイベントの企画を立案、実施しています。また、地元放送局とも連携し、祭りや地域のPR施策を積極的に行っています。

② 祭り人との交流・懇談

誇るべき地元の祭りについて関係者の皆さまから直接お話しをうかがう場を設けさせていただき、地域社会の課題や本活動の取り組みなどについて意見交換を行い、地域のパートナーシップ強化に繋げてまいります。

ダイドーグループは、国内飲料、医薬品、食品、海外の各事業分野で様々なステークホルダーの皆さまとのパートナーシップにより、お客様においしさと健康をお届けしています。

例えば、グループ全体の売上高の約7割を占める国内飲料事業は、飲料の製造から商品の配送、自動販売機の設置、自動販売機への飲料補充、そしてリサイクルにいたるまで、そのすべてのビジネスプロセスが、地域社会をはじめとするステークホルダーの皆さまとの信頼関係の上に成り立っています。このことへの感謝の気持ちが、私たちダイドーグループのビジネスにおいて大切な価値観であり、また、地域社会が豊かで元気にあり続けることが、事業の持続的な成長の源泉であると考えています。

「ダイドーグループ日本の祭り」は、「人と、社会と、共に喜び、共に栄える。」というグループ理念のもと、2003年に始まりました。全国各地で大切に受け継がれている祭りを通じ、地域の皆さまに喜んでいただき、より豊かな日々をお過ごしいただけるお手伝いをしたい、地域の絆作りや活性化に役立ちたいという想いから始まったこの活動も、2022年でいよいよ20年目を迎えました。

祭りは地域の文化や歴史を映し出すだけでなく、地域の未来をも支えています。祭りを元気にすることは、地域を元気にし、ひいては日本を元気にすること。ダイドーグループは、日本の伝統的な文化を後世に伝えるという想いも込めながら、地域の方々や行政とも手を携えて、地域活性化に貢献してまいります。

日本の心のすぐそばに。

ダイドーグループ 日本の祭り



参考／ダイドーグループホールディングス株式会社公式サイト(<https://www.dydo-ghd.co.jp/>)

お問合せ先／「ダイドーグループ日本の祭り」事務局(博報堂関西支社内)

電話／06-6229-5473



「秩父の魅力再発見」写真展を開催！

写真を通して秩父の魅力を伝えるため、秩父農工科学高校・写真部×秩父ファンクラブ・カメラ部（秩父市移住相談センター）による合同写真展を開催します！

【strong point/ここが言いたい！】

今回の写真展のテーマは「秩父の街並み」。

地元の高校生、移住者、観光客そして秩父に暮らす人々が、それぞれの目線で見えた秩父の魅力を写真により伝え、新たな再発見や何かを感じていただける写真展です。

会場は昨年7月にオープンした、ユナイテッド・シネマ ウニクス秩父のロビーを会場に50点を超える作品を展示します。



前回写真展の様子

※秩父ファンクラブとは、移住相談センターが運営し「秩父へ移住したい」「秩父が好き」「秩父をもっと知りたい」「秩父の人と関わりたい」などの思いを持った方とコミュニティを作りながら関係人口の増加を図ることを目的とした組織です。

【開催日時】 令和5年1月21日（土） 午前10時～午後4時

【会場】 ユナイテッド・シネマ ウニクス秩父 ロビー

【入場料】 無料 ※ただし映画鑑賞は有料

【主催】 秩父市移住相談センター・秩父ファンクラブ

【共催】 埼玉県立秩父農工科学高等学校

【next plan/今後の事業展開】

1月23日（月）～2月6日（月）まで、秩父市地場産業センター2階展示スペースにて、上記の写真展を開催します。写真展観覧時間は午前10時～午後4時、入場は無料です。

市長室総合政策課 移住相談センター

担当者：中島

☎0494-26-7946

FAX：0494-26-7946





秩父市のオリジナルおもちゃセットで「木のおもちゃ広場」を開催しよう！

【strong point/ここが言いたい！】

市では、「生涯木育」を合言葉に、さまざまなライフステージで木と触れ合うことで、木の大切さや木材の利活用の必要性について広く知ってもらう取り組みを進めています。

その一環として、森林環境譲与税を活用した秩父市のオリジナルおもちゃセットを使った木のおもちゃ広場の運用が始まります。

これに伴い、木のおもちゃ広場を運営するリーダーと、ボランティアの養成講座を開催します。

おもちゃセットは、秩父産材はもちろん、埼玉県のおもちゃ作家さんなど国産材のおもちゃを中心としたセットです。

赤ちゃんからシニアまで、多世代に木のおもちゃで遊んでもらい、笑顔と賑わいを届けたい！木育を広めたい！とお考えの方、ぜひご参加ください。(秩父市在住の方以外でも、お申込可能です。)

●秩父市のオリジナルおもちゃセット「秩父市 Wooden Toy Set」概要

セット数：2セット（1セットは木箱5箱）

内容：木製玩具73点（内、秩父産おもちゃは秩父市誕生祝い品など21点）

※陣幕、パーティーション、床板などの什器類も含む。

●ボランティア研修概要

日時：2月4日（土）または2月18日（土）午前10時～午後4時

場所：市役所本庁舎3階会議室

内容：秩父の森について、秩父市誕生祝い品木のおもちゃ説明、木育おもちゃセットの遊び方レクチャーなど

●リーダー研修概要

日時：3月12日（日）午前10時～午後4時

場所：市役所本庁舎3階会議室

内容：木育おもちゃの広場の概要説明、おもちゃの内容説明、設営・撤営の手順、来場者との関わり、ヒヤリハット、ロールプレイングなど

※ボランティア研修、リーダー研修とも、3月21日（祝・火）に実践研修があります。

※研修参加者募集チラシは別紙のとおり。

【next plan/今後の事業展開】

・3月21日（火・祝）午後1時～ 地場産センター4階ホールにて、木のおもちゃ広場を開催予定。

産業観光部産業支援課

担当者：前島、桑畑

☎：0494-25-5208

FAX：0494-25-0136



(別紙)

協力：NPO法人芸術と遊び創造協会（東京おもちゃ美術館）



★ Wooden Toy Box!



研修参加者大・大募集！！

秩父市木育おもちゃセットで
笑顔と賑わいを届けよう！

ボランティア、無料！
リーダー研修開催！

ボランティア研修 (各20名) 2月4日(土) または 2月18日(土)どちらか
10:00～16:00
秩父市役所本庁舎3F会議室

リーダー研修 (10名) 3月12日(日)
10:00～16:00
秩父市役所本庁舎3F会議室

実践研修 3月21日(火・祝)
10:00～18:00(予定)

問合せ・申込み 秩父市産業支援課
0494-25-5208
sangyo@city.chichibu.lg.jp



詳細はコチラ
(市報12月号)

2023年1月26日

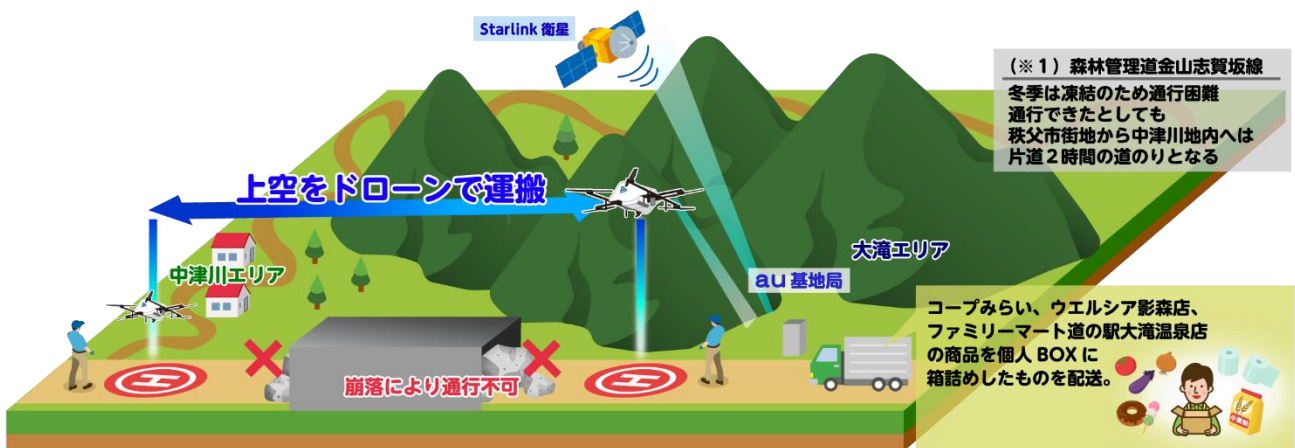
報道関係各位

埼玉県秩父市
株式会社ゼンリン
KDDI 株式会社
KDDI スマートドローン株式会社

秩父市中津川地内で Starlink を活用したドローン定期配送を開始 ～ 地域が“安堵”できる環境構築に向け 8 者が協力、「&プロジェクト」としてスタート ～

秩父市、株式会社ゼンリン（以下、ゼンリン）、KDDI 株式会社（以下、KDDI）、KDDI スマートドローン株式会社（以下、KDDI スマートドローン）は、株式会社エアロネクスト（以下、エアロネクスト）、生活協同組合コープみらい（以下、コープみらい）、株式会社ちちぶ観光機構（以下、ちちぶ観光機構）、ウエルシア薬局株式会社（以下、ウエルシア）らとともに、2023年1月26日から、土砂崩落の影響が続く秩父市中津川地内で、Starlink を活用したモバイル通信のもと、ドローンによる物資の定期配送（以下、本取り組み）を開始します。

本取り組みは、2022年9月に土砂崩落が発生し、物流が寸断された秩父市中津川地内の地域住民への冬季期間の生活支援を目的としています。2022年10月25日に秩父市とゼンリンが締結した「緊急物資輸送に関する連携協定」をもとに、賛同企業6社が加わり「&（アンド）プロジェクト」として連携・実施します。ドローン定期配送の実現により、中津川地内へ食品や日用品、医薬品などを短時間で配送することが可能となります。



▲ドローン定期配送 概要図

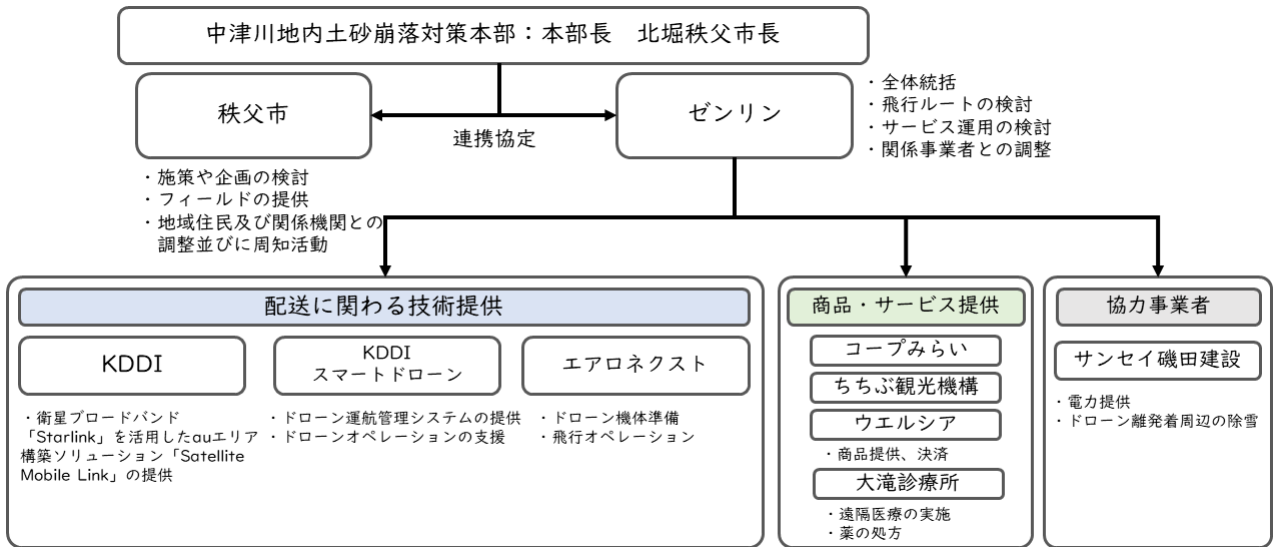
現在、ドローンによる物資の配送先となる中津川地内へアクセスするには、一部の緊急車両などの通行のみ許可されている森林管理道金山志賀坂線^(※1)を通行する必要がありますが、冬季は降雪や凍結のため通行が非常に困難となります。また、当該地域の地形の特性上、モバイル通信が不安定な環境であるため、衛星ブロードバンドサービス「Starlink」を活用してauのモバイル通信環境を確保し、ドローンの遠隔自律飛行による物資の配送を実施します。食品や日用品など最大約5kgの物資をドローンで複数回配送し、中津川地内の住民のみなさまの冬季期間の暮らしに貢献します。

■ドローン定期配送の概要

実施日	2023年1月26日(木)～3月末日まで ※1週間に1回(木曜日)のドローン配送。
実施エリア	埼玉県秩父市中津川地内
取扱商品	食品、飲料、生活雑貨、医薬品など
使用機体	AirTruck ※エアロネクストと株式会社 ACSL(以下、ACSL)が共同開発。

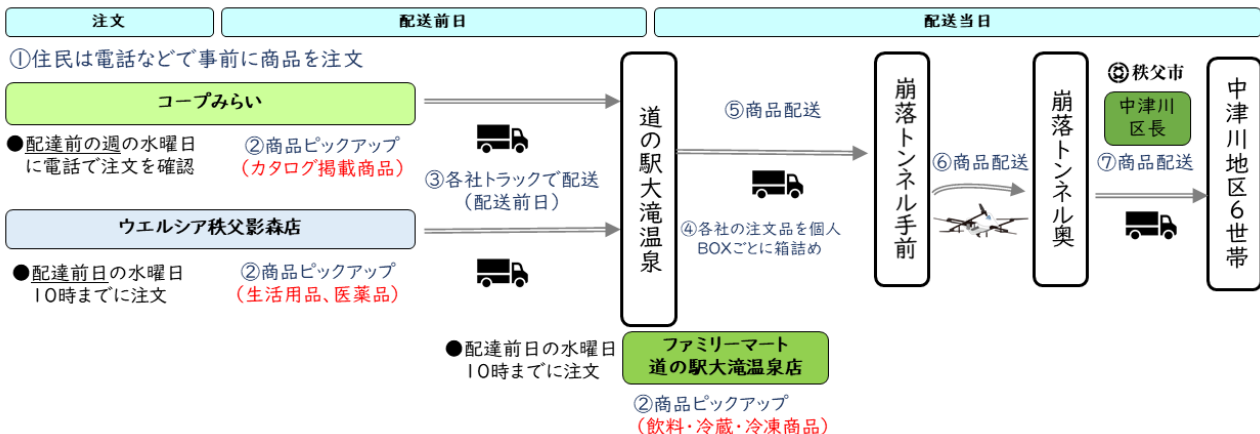
■関係者・体制図

全国各地でドローン物流の実証・サービス実装を行うゼンリンが、プロジェクトの全体統括を担当し、技術面・配送面のノウハウを持つ各社と共に、体制を構築しました。



■配送フロー

- (1) 住民は、電話などで事前に商品を注文。
- (2) コープみらい・ウエルシア秩父影森店、ファミリーマートの駅大滝温泉店が、注文商品をピックアップ。
- (3) 各社トラックで道の駅大滝温泉まで配送。
- (4) ちちぶ観光機構が、各社の注文品を個人ボックスごとに箱詰め。
- (5) 注文商品をドローン離陸地点まで配送。
- (6) 注文商品をドローンで配送。
- (7) 中津川地内の区長が注文商品を受け取り、各世帯まで商品を配送。



■「&プロジェクト」の命名に込めた想い

プロジェクト名には、“決して(A)あきらめずに、(N)中津川地内の(D)ドローン配送の実現を推進し、住民生活の安全・安心の確保を支援し、地域の安堵(AND)に貢献する”という想いを込めています。今回、このビジョンに賛同する8者が連携し取り組みをスタートすることになりました。



▲2023年1月26日に実施した記者発表会の様子

■Starlinkを活用したモバイル通信とドローン配送のシステム構成

中津川地内のドローン離発着地点には、操作者などの作業者を配置できず、また、崩落地手前の地点からは中津川地内の離発着地点を目視で確認することが出来ません。そのため、中津川地内までの飛行、機体の離発着、荷下ろしのすべてを遠隔操作で実施する必要があります。

そこで、本取り組みでは、以下の製品・サービスを組み合わせたシステムの構築を行いました。



▲システム構成のイメージ

1.Starlink の活用

衛星ブロードバンドの「Starlink」を活用した、「どこでも、素早く、広い範囲」に au エリアを構築するソリューション「Satellite Mobile Link」により、映像を用いたドローンの遠隔制御も可能にする au のモバイル通信環境を確保しました。

2.スマートドローンツールズと AirTruck の活用

「スマートドローンツールズ」の運航管理システムと物流専用ドローン「AirTruck」を組み合わせることにより、遠隔制御による機体の飛行、離発着、荷下ろしを可能としました。

・スマートドローンツールズ

KDDI スマートドローンが開発した、ドローンの遠隔制御や自律飛行、映像のリアルタイム共有を可能とするシステム。

・AirTruck



▲AirTruck 機体

エアロネクストが ACSL 社と共同開発し、ペイロード 5kg に対応した日本発の量産型物流専用ドローン。物流用途に特化してゼロから開発した「より速く、より遠く、より安定した」機体。エアロネクストの空力特性を最適化する独自の機体構造設計技術 4D GRAVITY®により、荷物の揺れを抑え安定した飛行を実現。遠隔操作による荷物の切り離し、荷物の上入れ下置き機構など、オペレーション性にも優れる。日本経済新聞社主催の「2022 年日経優秀製品・サービス賞 最優秀賞」を受賞。

■今後の展望

通信不感地域におけるドローン定期配送の運用ノウハウを蓄積し、中山間地域や災害時などの通信環境が不安定な状況においても、ドローン配送を実現可能とするソリューション構築を検討していきます。

これにより、全国の様々な地域・環境下でのドローン配送の社会実装を目指します。

【参考資料】

- ・秩父市とゼンリン、緊急物資輸送に関する連携協定を締結(2022 年 10 月 25 日リリース)
https://www.zenrin.co.jp/information/public/221025_02.html
- ・ゼンリンのドローンなどを活用したモビリティ支援プラットフォーム(全国での実証・実装の事例)
<https://www.zenrin.co.jp/product/category/technology/drone/index.html>

【本件に関するお問い合わせ先】

株式会社ゼンリン コーポレートコミュニケーション部 羽田、立花
TEL: 03-5295-9000、080-1705-4730 E-mail: pr@zenrin.co.jp

秩父市 中津川地内土砂崩落対策本部
大滝総合支所 千島(中津川地内生活支援) TEL:0494-55-0861
産業支援課 笠井(ドローン配送関連) TEL:0494-25-5208

【個社に関するお問い合わせ先】

KDDI株式会社 広報部
TEL: 03-6678-0690 E-mail: prdpt@kddi.com

KDDIスマートドローン株式会社 経営企画室 坂本
TEL:070-3508-7257 E-mail: ro-sakamoto@kddi.smartdrone.co.jp



3年ぶりの開催！「秩父市子ども伝統芸能伝道師」称号授与式および民俗芸能大会

未来ある子どもたちが民俗芸能を披露！
その雄姿を括目しましょう！

【strong point/ここが言いたい！】

コロナにより休止していた「子ども伝統芸能伝道師」授与式および民俗芸能大会を開催します。

秩父に古くから伝わる伝統文化を未来に向けて保護・継承していくために、日頃から練習に取り組んでいる子どもたちの晴れ舞台です。コロナに負けずに精一杯頑張ってきた証がこの1日に詰まっています。3年ぶりとなる今回も、秩父市内の多くの子どもたちが参加する予定です。一同気合いが入っております！みなさん、ぜひお越しになってその活躍をご覧ください！

また、午後には秩父歌舞伎正和会の定期公演があります。迫力のある一幕をお楽しみください。



□開催日 令和5年2月5日(日) 10時開演

【午前の部】

もとまちこども太鼓教室「秩父屋台囃子」
吉田中学校 神楽教室「貴布祢神社神楽」
影森中学校 浦山の獅子舞「浦山の獅子舞」
「秩父市子ども伝統芸能伝道師」称号授与式

【午後の部】

花の木小学校歌舞伎クラブ・秩父歌舞伎正和会「秩父歌舞伎」定期公演

□会場 秩父宮記念市民会館 大ホールフォレスタ (秩父市熊木町8番15号)

□入場料 無料

秩父市教育委員会 文化財保護課

担当者：伊藤、竹内

☎0494-22-2481

FAX：0494-23-9294





「電車で秩父に行こうキャンペーン！」を実施します

～観光客の鉄道利用促進事業を行います～

【strong point/ここが言いたい！】

秩父市は観光客の鉄道利用を促すため、「電車で秩父に行こうキャンペーン！」を実施します。このキャンペーンは、秩父市にお越しになる際、交通手段として鉄道を利用することで対象施設で使えるクーポン券をプレゼントする事業です。秩父市へお越しの際は、ぜひ鉄道をご利用ください。

キャンペーンについて

□概要 秩父市にお越しの際鉄道を利用することで、対象施設で使えるクーポン券（500円分）をプレゼントします。クーポン券の配布は先着4,500人とします。

□期間 令和5年2月4日（土）、5日（日）、11日（土）、12日（日）、18日（土）、19日（日）の計6日間

※クーポン券がなくなり次第、キャンペーン終了となります。

□利用方法

①西武鉄道「西武秩父駅」または秩父鉄道「秩父駅」で降車し、改札内に設置されたブースでクーポン券を受け取る。

②対象施設でクーポン券を利用する。

対象施設…市内観光施設やおみやげ購入など、今回の事業に参加している施設で利用できます。

詳しくは公式サイトをご確認ください。（1月31日（火）午後1時公開予定）

<https://www.chichibu-omotenashi.com/densha_coupon/>

□事業委託先 （一社）秩父地域おもてなし観光公社

産業観光部 観光課

担当者：江田、山越

☎0494-25-5209（直通）

FAX：0494-27-2627

